

事業所名 板橋区立加賀福祉園児童ホーム

公表 令和7年 2月 21日

	チェック項目	はい			いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	どちらともいえない	いいえ			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肢体不自由児でも自由に身体を動かせるようにジョイントマットなどを床に敷いている。</li> <li>・必要に応じて、広い部屋を2分割して使用している。</li> <li>・活動によって物を減らしたりして、スペース確保に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員数だけを見るのではなく、ケアや観察がより必要な方もいるので、目が届きにくい方も出てきてしまう。</li> <li>・もう少し広いといい。また個別の部屋や用途を決めない多目的な部屋があると良いと感じる。</li> </ul>	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ、他クラスの職員が応援に入る等の柔軟な対応ができています。</li> <li>・曜日によってクラスの登園人数に偏りがあるので他クラスとも人数調整しながら支援している。</li> </ul>		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の施設内のできる工夫は各クラスで行っている。</li> <li>・広い部屋は反響音が大きいため、聴覚過敏があると思われる児童にはイヤーマフ等を利用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレと洗面所が同一空間なのは、衛生面で課題がある。</li> <li>・押し入れの扉は木が古くて開けにくく使いにくい。</li> <li>・古い施設なのでまだまだバリアフリー化は進んでいない。</li> <li>・園庭の段差やエレベーターがないことは今後の改善を希望。</li> </ul>	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレが寒かったり、室内に角が多い。現在は保護材等を使用して怪我防止に努めている。</li> <li>・毎日の掃除で清潔を心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレは上部の隙間を介して他クラスのトイレと繋がっている造りのため、感染症対策については十分に配慮する必要がある。また、医ケアの導尿を清潔に行う環境作りも課題である。</li> <li>・建物が古く、定期的に補修工事が必要。工事をしていて窓が開けられない時の換気の点など、心配になることが時々ある。</li> <li>・何度工事しても頻繁に水漏れが起こるトイレやドアの建付けの悪さなどが目立つ。</li> </ul>	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	6	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別での使用を行うときなどは、パーテーションなどを使用している。</li> <li>・誰もいない何も無い空間が用意できればなお良いと思うが、現在はパーテーションや空いている部屋を活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の療育や落ち着きたいときに廊下に出て過ごすのは適切ではないと感じる。</li> </ul>	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	4	0	週1回の職員会議、毎日の朝終礼実施。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	0	年1回の当評価の他、3年おきに第三者評価を受審。	特に第三者評価実施の年度は保護者が複数回アンケート回答を求められ、事業所を併用している場合はさらにその機会が増えるのは保護者への負担が大きいと感じる。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	3	0	OJT面談、職員面談の実施。	・業務改善の提案を出しやすい職場環境づくりに留意する必要がある。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	2	0			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策やガウンテクニックの講習が定期的にあるのは良い。</li> <li>・研修が多くて、大変に感じることもあるが、実践的な研修が多く、とてもありがたい。</li> <li>・研修は個別で受けたり、全体で受けるなどしている。</li> </ul>	・児童の支援に特化した研修が少ないと感じる。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	0	公表準備中。		
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	0				

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	0	活動が始まる前に、ねらいについて説明があるので取り組みやすい。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	0	その日毎に、職員間、専門職で共通の認識を持つようになっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	0	お子さんが適応できる環境設定となっているかという視点も持って状況把握（アセスメント）に取り組んでいる。	発達スケールの項目をより詳細にしたツールを作成し、発達をさらに細やかに把握する必要がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	0	家族支援は、ご家族の状況に応じた支援を心がけている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	0	それぞれの特性を踏まえた取り組みを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	1	0	・例えば同じ活動にしても、使う道具を変えたりといった工夫をしている。 ・ねらいを持って繰り返す活動と新しい経験となる活動を組み合わせている。	集団の安定した状態を保つために支援側がパターンを作っていないかどうかの振り返りも必要（般化を見据えた支援）であると感ずる。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	0		発達状況の異なる集団の中で、ねらい、待ち時間、手がかり等々を個々の児童にとって適切なものにしていく必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1	0	打ち合わせ中に、疑問点などあれば変更している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	2	0	・振り返りをし、反省と次に生かす方法を模索している。 ・時間が取れないときもあるが、1週間の中では話す機会を持っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	1	0		
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	0		現実の発達状況の把握だけではなく、有り得たかもしれない別の状況も考察する（支援が、お子さんの成長の後追いにしないようにする）必要がある。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1	0		・支援の方向性に共通認識が必要とあるため、担当者会議があると良い。 ・各所の方針を尊重しながら落とし所を探る。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	0	・併用先とは情報交換をし、適宜見学・訪問を行っている。 ・定期的に電話をし、見学にも行くようになっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	2	0		支援学校とはできているが、支援学級との連携は難しいことが多い。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	12	1	0	自立支援協議会、自治体による児童関係機関の会議、発達支援センター・事業所の連絡会議等に参加し、連携を図っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり職員を外部研修に参加させているか。	13	0	0	専門職に事前に情報を提供し、活動終了後には報告会を実施し、全体的な質の向上を図っている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	4	0	地域の子供向けイベントの協力団体として定例会に参画している。	今後の運営方法などは定例会の中で要検討

	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12	1	0		園全体で地域の子どもと活動、交流の場を確保していけると良い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	0	保護者からの意見を伺い、説明する機会を設けている。	様々な状況や事情のある家庭があるので、親子通園や家庭訪問を避ける方もいる。話す機会を作るよう気を付けてはいるが、難しい場合もある。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	1	0	親子通園の企画として、専門職(ST、OT、心理、栄養士)の話しを聞く会や先輩保護者からの話を聞く会などを設けている。	「〇〇力」といった指標的な観点ではなく、ご家庭各々の状況に合わせたお子さんとの過ごし方を保護者と相談しながら考える。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	0	契約時や重要事項説明時に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	0	面談や親子通園の機会などを通して保護者の思いも確認している。	何を以て「最善」とするか、発達における「利益」とは何か、など慎重に検討していく必要がある。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	1	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	3	0	保護者同士が語り合える場になるよう工夫している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	1	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	0	月1回発行の「園だより」や「活動予定表」、各行事ごとにお便りを配布し、行事の予定等をお知らせしている。	ICTを活用した連絡方法を準備中。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	1	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	0	0		園祭と夏祭りを毎年、実施。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	0		対応すべき事案が起きた時にマニュアルや訓練が活かされるか検証していく必要があると感じている。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	0		同上。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	1	0	見学时や嘱託医による健診、入園前の面談で確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	2	0		設備点検や訓練も大切であるが、支援中の振り返りも行う必要がある(立ち位置、視線がどこにあるか等々)。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	3	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1	0	当日の終礼および終礼記録で共有している。	対策の周知にはもっと迅速さが必要と感じている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	2	0		